

今まであきらめていた金属塗装の幅が大きく広がりました。

ミラクボーセイMは、エポキシ樹脂と鉛・クロムを含まない防錆顔料を用いたさび止め塗料でJIS K 5551 A種、B種の品質、JASS 18 M-109の規格を満たす塗料です。公共建築工事標準仕様書の鉄鋼面の高耐候性塗料(DP)塗りの下塗りとしてもご使用いただけます。また、亜鉛めっき鋼、アルミニウム、各種旧塗膜と優れた密着性を示し、幅広い用途にご使用いただけます。

特 長

- 防 食 性** エポキシ樹脂と鉛・クロムを含まない防錆顔料の使用により、優れた防食性を発揮します。
- 幅広い下地適用性** 各種旧塗膜と優れた密着性を示し、エポキシ樹脂系塗料、ポリウレタン樹脂系塗料、アクリルシリコン樹脂塗料などの既存塗膜の塗り替えに有用です。
- 優れた密着性** 亜鉛めっき鋼やアルミニウム下地、各種旧塗膜などに対して優れた密着性を示します。
- 高 耐 久 性** 各種上塗材と優れた密着性を示し、高耐久性で、メンテナンスサイクルを飛躍的に延ばすことができます。
- 良好な作業性** ローラー、刷毛、エアレス塗装に優れ、タッチアップも良好です。

用 途

鉄部(手摺り/階段部等)、金属屋根、サッシ、鋼構造物、ガルバリウム鋼板など

荷 姿

- ★ミラクボーセイM 18kgセット(主剤14.4kg石油缶、硬化剤3.6kg缶)
4kgセット(主剤3.2kg缶、硬化剤0.8kg缶)
標準色*:グレー(N-75近似)、アカサビ(O7-40P近似)、クリーム(22-90D近似)、シロ(25-90B近似)
※()内は(一社)日本塗料工業会の近似色の色番号を表しています。
標準塗坪:105~128㎡/18kgセット、23~28㎡/4kgセット
可使時間:5時間(23℃)

- ★E H シ ン ナ ー 16ℓ石油缶

《危険情報と安全対策》

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。

特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※ 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

《施工後の注意》

本製品には、揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

塗料性状

消防法分類: 主 剤・・・第四類第二石油類
硬化剤・・・第四類第二石油類

有機則区分: 主 剤・・・第二種有機溶剤等
硬化剤・・・第二種有機溶剤等

標準施工仕様

●鉄骨構造物重防食(第二種ケレンを必要とする場合)、亜鉛引鋼板・ボンデ鋼板

(23℃)

工程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間(hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	●鉄骨構造物 不安定なミルスケールはディスクサンダー、ワイヤーブラシなどを用いて完全に除去してください。 油脂類の残存は附着低下の原因になりますので、溶剤(トルエン、キシレン)を用いて除去してください。 ●亜鉛引鋼板・ボンデ鋼板 サンドペーパーにより、発錆部等は、浮上さび、ごみ、汚れを除去してください。 (化成処理膜を痛めないようにしてください)							—
* 下塗り	ミラクボーセイM 主 剤	100	0.14~	1	—	6以上 14日以内	—	ローラー・刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	ミラクボーセイM 硬化剤	25	0.17					
	E H シ ン ナ ー	0~30	—					

* ミラクボーセイMの希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗り時で「10~30」、刷毛・ローラー塗り時で「0~20」となります。

- ※ 1 素地調整・下地調整は、さび止め塗装工事の耐久性を高める重要な工程となりますので、入念な処理を行ってください。
- ※ 2 浮きさび、浮いた塗膜及び劣化塗膜は完全に除去してください。
- ※ 3 さびの著しい部位は、ケレン除去後、補修塗りを行ってください。
- ※ 4 作業環境や形状によってさびを完全に除去できない部位には、予め★サブフィックス(18kgセット・4.5kgセット)で補修塗りを行ってください。
- ※ 5 さび止め塗料の防食性は膜厚に比例します。R部やエッジ部など、膜厚が得られにくい箇所は、増し塗りするなどして、十分な膜厚を確保してください。
- ※ 6 ミラクボーセイMを使用した塗装器具は「EHシンナー」で洗浄してください。
- ※ 7 ミラクボーセイMの標準膜厚は35μmです。標準膜厚は、標準的な塗装条件や下地を想定したときの目安を示したものです。膜厚は、塗装条件や器具、塗装部位の形状、下地の状態等によって異なりますので、ご了承ください。
- ※ 8 上塗りについては、詳しくは別途パンフレットをご参照ください。
- ※ 9 旧塗膜が弱溶剤に可溶するタイプの場合は、下塗り、上塗りを施工後、リフティングを生じる可能性がありますので、避けてください。
- ※ 10 旧塗膜の附着性を確認するためクロスカット試験などを事前に行ってください。
- ※ 11 旧塗膜の状態や種類によって、附着力が得られなかったり、溶解することがあります。事前に試験塗りをし、附着力や溶解性の確認を行ってください。
- ※ 12 溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ※ 13 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※ 14 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※ 15 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※ 16 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※ 17 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りや仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合があります。
- ※ 18 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に附着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ※ 19 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※ 20 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※ 21 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※ 22 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避け冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※ 23 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定外の材料を混ぜないでください。

施工器具別の希釈量と所要量

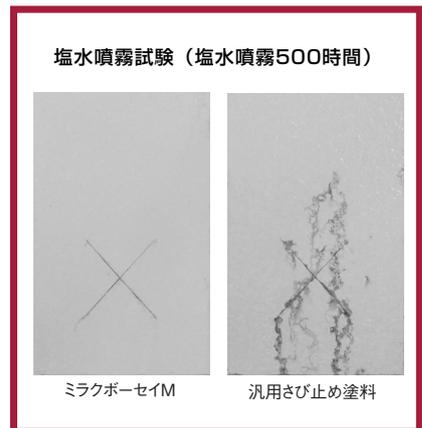
材 料	塗装方法	希釈量**	所要量 (kg/m ²)	平均乾燥膜厚 (μm)	ウェット膜厚 (μm)
ミラクボーセイM	ローラー・刷毛	0~20	0.14	35	70
	エアレス	10~30	0.17		

**主剤100に対するシンナー重量比

性能試験成績表

●JIS K 5551 構造物用さび止めペイント A種 による物性試験結果

試験項目	結 果	規 定
容器の中の状態	合格	かくはん(攪拌)したとき、堅い塊がなくて一様になる。
半硬化乾燥性	合格	半硬化乾燥している。
塗装作業性	合格	支障がない。
塗膜の外観	合格	正常である。
ポットライフ	合格	5時間
上塗り適合性	合格	支障がない。
耐おもり落下性	合格	割れ及び剥がれがない。
付着性	合格	分類0
耐アルカリ性	合格	異常がない。
耐揮発油性	合格	異常がない。
サイクル腐食性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。
塗膜中の鉛の定量(質量分率%)	合格	0.06以下
塗膜中のクロムの定量(質量分率%)	合格	0.03以下
屋外暴露耐候性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。



エスケー化研株式会社

SK KAKEN 本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎ 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391 名古屋支店 052-561-7712 大阪支店 072-621-7721 広島支店 082-943-5043 福岡支店 092-629-3427
 仙台支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400 京都支店 075-646-3967 神戸支店 078-671-0451 高松支店 087-865-5411

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

[製作年月:2021年8月](210810.Y-15)

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>

